

成人の日にたすきをつなぐ:大月駅伝

新春の大月路を駆け抜ける第44回大月市駅伝競走大会が1月20日(日)開催されました。大会には一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、市内体育会の5部門に64チームが出場、大月市役所前をスタートし、大月東中学校をゴールとする男子7区間26.8km、女子・市内体育会5区間18.8kmで健脚を競いました。コースは高低差の激しい山岳部を縫う設定でしたが、県内でもトップクラスのチームが集い、大変レベルの高い戦いとなりました。

各部門の優勝チームは、一般男子が2連覇を果たした山梨大学、一般女子は全国高校駅伝に出場した葦崎高校(大会新)、中学男子は全国中学校駅伝で優勝した八田中学(大会新)、中学女子は全国中学校駅伝に出場した若草中学、市内体育会は富浜体育会(大会新)となりました。天候もよく、区間



新記録も多く出るなど、新春に熱い戦いが繰り広げられました。

本大会は「成人を祝い、元気に走ろう」をテーマに毎年成人の日前後に開催されています。当日は、振り袖姿の新成人がゴールテープを握り(写真右)、チームのたすきを握った



最終走者の選手たちの力走を、笑顔で出迎えていました。

また、多くの市民が沿道から暖かい拍手と声援をおくるなど、市民と参加選手が一体となった素晴らしい大会でした。



大月短大附属高校 “学校評議員を囲むパネルディスカッション”

大月短期大学附属高等学校(渡邊芳信校長)では、2月1日(金)、“学校評議員を囲むパネルディスカッション”が、「でも・・・そんなの関係あ～る！」をテーマに開かれました。

年3回の学校評議員会の最終回である今回、学校評議員を囲んで、生徒代表とのパネルディスカッションを行い、相互に意見交換する中、評議員制度の周知や、生徒の意識改革を図ることをねらったものです。4名の評議員、生徒は10名、コーディネーター役は、学事渉外担当の先生が当たりました。



冒頭、概要説明が話され、ついで、たたき台として、各評議員から大月短大附属高生の印象を聞くことから始まり、体育館フロアーの生徒たちも巻き込み、服装、あいさつのこと等、身近な問題から入り、熱心に展開していきました。

討議の論点としては、今の高校生について、社会が必要とする人材について、人と人とのつながりが大切であること等であり、評議員、あるいは生徒たちの一方的な発言ということではなく、それぞれの発言、意見を受けての、前向き、建設的な考えの開陳でありました。

評議員さん方も各界からの人選にて、それぞれのお立場、経験からの発言のため、高校生にとっては示唆に富み、あるいは具体的なアドバイスになっていました。



このパネルディスカッションは、とかく閉鎖的な範囲で生活している高校生が、外部の学校評議員の見る目(評価)を感じ、自校の生徒がどう見られているか、どうあるべきなのかを討論してもらうために今回初めて企画されました。

ひばりが丘高校 公開授業

ひばりが丘高校(金子寛校長)では、1月24、25日と第3回授業公開が行われました。昼間部、夜間部それぞれで行われ、授業参観者は、生徒たちが真剣に取り組む姿を参観しました。

各クラスの授業は、理解の徹底と定着を意図したもので、綿密な計画の下、丁寧に授業が進められていました。国語総合の授業では(写真右)、新春にふさわしい、「百人一首」が取り上げられ、プリントの援用と相俟って、わかりやすい授業展開で、丁寧な文法指導、生徒への投げかけ、そこから派生して興味の喚起、さらに口語訳へとつなげ、広がりのあるものでした。

古典における、「暁」「東雲」「曙」の違いなど、身近な素材をも的確に捉えたご指導に、生徒たちも引き込まれるように、熱心に授業に取り組んでいた姿が印象的でした。



百人一首の授業

マリア国際幼稚園：「金銭教育」公開授業

1月31日(木)、マリア国際幼稚園(庄司エレナ園長)では、保護者や教育関係者等を対象に、山梨県金融広報委員会より2年間の「金融教育研究校」の指定を受けた、今年2年目の**金銭教育公開授業**が開かれました。

「Good morning」の挨拶から始まり、きめ細かい指導案に基づきながらも、目の前の園児たちにはフレキシブルに対応し、クイズ形式の導入、世界各国の貨幣単位の相異、将来の夢と展開し、室内の模擬shopでの買い物と、体験をも重視した取り組みでした。

総括として、お金は生活の一部として大切、それ以上に、家族が大切であると結んでいました。授業終了後には、職員と参観者全員による研究協議・意見交換が熱心にもたれ、今後にもつながる実のあるものでした。



谷村工高・課題研究公開発表会

谷村工業高等学校(奥水又幸校長)では、1月28日(月)、都留市文化ホールにおいて、**課題研究公開発表会**が開かれました。

生徒の進行により、機械システム科「エコランカーの製作」、建設科「みんなのガーデニング」、電子情報科「JAVAによるWindowsゲームの製作」、デザインコース「地球にやさしいエコハウス」、環境科学コース「宝石の合成」の順で発表があり、各発表とも学科の特性を生かしたもので、身近なもの、専門性の高いもの等、工夫が随所に見られる内容でした。カリキュラム上に位置づけられた「課題研究」ですが、生徒たちの3カ年の学習の集大成を見る観がありました。



講評に立った志村達男都留第一中学校校長は、5つの発表について、それぞれのコメントを述べ、中学校卒業時からの成長ぶり、とりわけ、努力に努力を重ね、今日に至っている様を賞賛し、総括として、谷村工高での多くの経験を「生きる力」として糧にし、これからも「自信と誇り」を持って進んでいってほしいと、エールをおくりました。次いで、奥水又幸校長からは、各科代表に、表彰状が手渡されました(写真左上)。

大ホールには、全校生徒はもちろん、工業界、産業界をはじめ多くの来賓、さらには、地元の中学生たちの参観もあり、賑々しく実施されました。

富士北稜高校・生徒発表会

富士北稜高等学校(山田泰男校長)では、2月11日(月)、富士五湖文化センター大ホールにて、**生徒発表会**が開かれました。

生徒の進行で、「CADを用いた設計製図」、「吉田のうどん～吉田の至宝の実態に迫る～」等7つの系列・科等の発表、放送部、吹奏楽部の2つの部の発表がステージ上にて、繰り広げられました(写真右)。



自分の進路に合わせて系列を選び、その実現に向けて2・3年次では専門的な学習に取り組むという、学校の特色を存分に発揮したもので、動画の活用や、校外に出て取材したもの、県内外の大会・コンクールに出場し、上位入賞したものなども数多くあり、見応えのあるものでした。

いずれも単なる発表の域から脱し、問題の提起、あるいは問題意識を持つての取り組み、また、その問題を解決するための具体的な方策の提案もあり、いっしょに考える時間と場にもなっていました。

大ホールには、全校生徒はもちろん、各界からの来賓、さらには、地元の学校関係者の参観もあり、盛大に実施されました。

なお、ロビーにおいては、系列紹介パネル、1、2期生進路先一覧、部活動、系列・コース等の展示発表も併せて行われ、教育活動の様子がわかるもの(写真左上)になっていました。



「明日の風」掲示板 (北都留)

☆ 「明日の風」 アスリート実技講習会
期日：3月1日(土)9:00～
場所：大月市営陸上競技場

「富士の光」掲示板 (南都留)

☆ 南都留地区社会教育委員連絡協議会・公民館連絡協議会第3回合同理事会
期日：3月10日(月)14:00～
場所：南都留合同庁舎3階第1会議室

----- 上記掲示板についての問い合わせ先 -----

富士・東部教育事務所 地域教育支援担当

TEL 0554-45-7841

FAX 0554-45-7823